

客席内収容率緩和判断基準表

【別紙1】

| 客席収容100%まで | 客席収容140名まで |
|--|---|
| <p>過去の利用で十分な感染症対策が講じられたと、指定管理者が判断した主催者の当該イベント</p> | <p>過去の利用で十分な感染症対策が講じられていなかったと、指定管理者が判断した主催者の当該イベント ※上記に該当する事が多いと判断された利用種別についても同様である</p> |
| <p>以下の例示に該当し且つ劇場が認めるイベント</p> | <p>以下の例示に該当すると劇場が認めるイベント</p> |
| <p>音 楽</p> | <p>音 楽</p> |
| <p>クラシック音楽、歌劇、楽劇、合唱、ジャズ、吹奏楽、民族音楽</p> | <p>ロックコンサート、ポップコンサート、カラオケ歌謡コンサート</p> |
| <p>舞踊・ダンス</p> | <p>舞踊・ダンス</p> |
| <p>民族舞踊、バレエ、現代舞踊</p> | <p>ストリートダンス</p> |
| <p>コンテンポラリーダンス</p> | <p>公 演</p> |
| <p>公演・式典</p> | <p>キャラクターショー、親子会公演</p> |
| <p>講演会、説明会、ワークショップ、行政主催イベント、表彰式</p> | |
| <p>演 劇</p> | |
| <p>現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル</p> | |
| <p>読み聞かせ、手話パフォーマンス</p> | |
| <p>伝統芸能</p> | |
| <p>沖縄伝統芸能（組踊、琉球舞踊、三線音楽、民族芸能、沖縄芝居）、雅楽、能楽、文楽、人形浄瑠璃、邦舞</p> | |
| <p>芸能・演芸</p> | |
| <p>講談、落語、浪曲、漫談、漫才、奇術</p> | |
| <p>公演・式典</p> | |
| <p>各種講演会、説明会、ワークショップ、各種教室、行政主催イベント、タウンミーティング、入学式、卒業式、成人式、入社式</p> | |

- (注) ・上記は、利用申請時に定員制限の基準として用いるが、利用直前打ち合わせにて、許可事項に反する変更や事実が確認された場合は、客席収容の制限を行う場合がある。
- ・上記例示に無いものは、公演内容に近いものから、当てはめて劇場が判断する。
 - ・感染状況の悪化等により、100%収容許可の取り下げ調整することがある。
 - ・ガイドラインが遵守されることが前提である。100%収容許可にて行われた催し物の感染対策に不備があると認められた場合は、次回以降について同様の許可は改善対策方針が示されない限り出せないものとする。
 - ・収容率緩和要件の基本的な考えは、国事務連絡に基づく。